

感染対策室の状況

(1) 2023年度の主な取り組み

<感染対策室>

- 1) 感染対策上重要な微生物の検出については、細菌室との報告体制により、速やかに現場の状況確認等を行い、感染対策指導や実施状況の確認を行った。
- 2) 院内、院外で発生している感染症情報について、院内LANを用いて全職員へ発信した。
- 3) 2022年より継続して感染対策向上加算1を取得しており、入院初日に710点が加算されている。
- 4) 連携病院を対象とした相談室が当院感染対策室内に設置されており、コンサルテーションを実施した。
- 5) 感染対策向上加算連携病院や新川地域の中小病院、開業医と合同カンファレンスを年4回開催し情報交換を行った。(2023年5月11日、8月3日、11月2日、2024年2月22日)
- 6) 加算1連携病院の評価ラウンドを相互で実施し、地域連携を図った。(2023年9月15日市立砺波総合病院より当院へ評価ラウンドを実施、2023年12月7日当院は富山労災病院へ評価ラウンドを実施し、3病院間で相互の評価がなされた)
- 7) 2023年度は下記の施設と感染対策向上加算連携をしている。
 - ※加算1連携病院：市立砺波総合病院、富山労災病院
 - ※加算2連携病院：あさひ総合病院
 - ※加算3連携病院：坂東病院、丸川病院
 - ※外来加算連携施設：こいずみクリニック、高桜内科医院、耳鼻咽喉科中川医院、すみれ内科クリニック、山本クリニック、大橋クリニック、島谷クリニック

<感染対策会議>

目標1 当院の緑膿菌のメロペネム感受性を2022年の全国平均93%に改善するために、メロペネムの使用量を2.5DOTs/100patient-dayに削減する。

2023年1月から12月の緑膿菌のメロペネム耐性率88%（前年比+1ポイント）であり、横ばい。メロペネムの使用量は3.2 DOTs/100patient-day（前年比+0.28）と増加。2023年9月以降のMEPM使用量は減少傾向に転じたものの、時期が遅く減少速度が緩徐であったことから、平均的には使用量増加の結果になったものと推察する。9月以降に使用量が減少した要因として、2023年度より新設された感染症内科の影響が考えられる。特に同時期から感染症内科へのコンサルテーション件数が増加傾向にあり、院内での認知が広がったことがメロペネム等の広域抗菌薬の使用頻度に影響した可能性が考えられる。

目標2 近隣の医療施設との連携を深めるため、抗菌薬適正使用支援や感染対策の相談（コンサルテーション）の支援を行う。

地域連携医療機関と年4回の合同カンファレンスを開催し、厚生センターからは管内の新型コロナウイルス感染症等に関する動向情報提供を受けた。当院薬剤師からは近隣参加施設間の感染症発生状況、抗菌薬使用等のサーベイランスについて情報提供を行い、またJANISやJ-SIPHE参加への呼びかけも行った。近隣施設からの感染相談に対しては、適切に支援を行うことができた。

今後、連携医療施設と合同カンファレンスや相互ラウンドを通じて連携を図り、地域全体で情報共有し感染制御を行う。

目標3 新型コロナウイルス、インフルエンザやノロウイルス等の院内感染発生に対し早期介入を行い、アウトブレイク発生ゼロをめざす。

5月8日から新型コロナウイルス感染症は5類感染症に位置づけされ、個人の選択を尊重していく対応に変化した。病院の検査に対する基準も変更となり、入院時にウイルスを持ち込んでくる患者も増え、早期発見、拡大防止に努めた。職員、入院患者の新型コロナウイルス感染症判明時は速やかに情報収集、関連部署の接触者をリストアップし適切な検査を実施するなどの対応を行った。

新型コロナウイルス感染症のクラスター発生時は、その都度感染対策室やICTが早期介入し、感染制御の強化や部署への指導等を実施した。新型コロナウイルス感染症以外のアウトブレイクは0件であった。

目標4 医療関連感染防止のため部署別一患者あたりの擦式アルコール使用量の向上をめざす。

今年度は看護師、看護補助者に対して擦式アルコールの個人持ちを開始し、全国値の15mlを目指した。毎月使用量を各部署に分けてデータ化・フィードバックした。4月開始時は1患者あたりの使用量は8.5mlであり、擦式アルコール使用に関して自己、他者評価を行った。評価が低い項目に対してポスター掲示や読み合わせ等の啓蒙活動を行い使用量は13.6mlまで増加した。しかし目標値までには到達せず、引き続き手指消毒の使用量向上、適切なタイミング実施に向け直接観察法も含めた監査等、継続した活動を行う。

(2) 実績内容

1) 感染対策に関する委員会の開催実績

| 委員会名 | 設置年月日 | 令和5年度開催実績 |
|---------------------|-----------|---------------------|
| 感 染 対 策 会 議 | 平成元年4月1日 | 12回（定例会毎月1回） |
| 感 染 制 御 チ ー ム (ICT) | 平成19年4月1日 | 45回（毎週水曜日） |
| 抗菌薬適正使用支援チーム（AST） | 平成30年4月1日 | 137回（隔週月曜日、毎週火・木・金） |
| I C T リ ン ク 会 | 平成19年4月1日 | 11回（定例会5月～毎月1回） |

2) 院内ラウンド

| 月（回数） | ラウンド部署 | 月（回数） | ラウンド部署 |
|--------|-----------------------------------|---------|-----------------|
| 4月（8回） | 全病棟、栄養科、手術室、中央受付、救命センター、リハビリ室、医事課 | 10月（4回） | 全病棟、産婦人科外来、採血室 |
| 5月（4回） | 全病棟、東2階、検査室 | 11月（4回） | 全病棟、放射線科 |
| 6月（4回） | 全病棟、やわらぎデイサービス、外来下 | 12月（4回） | 全病棟、栄養科 |
| 7月（4回） | 全病棟、外来上、カテーテル検査室 | 1月（2回） | 全病棟 |
| 8月（6回） | 全病棟、院内保育所、通院治療室 | 2月（4回） | 全病棟、学生休憩室、職員休憩室 |
| 9月（4回） | 全病棟、小児科外来 | 3月（3回） | 全病棟、放射線科 |

3) サーベイランス

2023年

2024年

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 (※平均) |
|--|----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------------|
| MRSA 検出率 (MRSA 検出数 / (MRSA+MSSA) 検出数 %) | 全体 | 28.9% | 14.3% | 23.8% | 30% | 32% | 34.8% | 37.2% | 44.1% | 23.7% | 30.6% | 29.6% | 30.9% | ※ 30.0% |
| | | 13/45 | 7/49 | 10/42 | 12/40 | 16/50 | 16/46 | 16/43 | 15/34 | 9/38 | 15/49 | 16/54 | 13/42 | |
| | 入院 | 27.3% | 27.3% | 26.3% | 52.9% | 36.8% | 52.4% | 69.2% | 58.3% | 36.3% | 41.7% | 45% | 50% | ※ 43.6% |
| | | 6/22 | 3/11 | 5/19 | 9/17 | 7/19 | 11/21 | 9/13 | 7/12 | 4/11 | 5/12 | 9/20 | 5/10 | |
| | 外来 | 30.4% | 11.4% | 21.7% | 13% | 29% | 20% | 23.3% | 36% | 18.5% | 27% | 20.5% | 25% | ※ 23.0% |
| | | 7/23 | 4/35 | 5/23 | 3/23 | 9/31 | 5/25 | 7/30 | 8/22 | 5/27 | 10/37 | 7/34 | 8/32 | |
| MRSA 陽性患者数 | | 4 | 2 | 5 | 9 | 7 | 9 | 6 | 11 | 5 | 4 | 10 | 8 | 80 |
| MDRP (多剤耐性緑膿菌) (検出検体数) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ESBL (基質拡張型β-ラクタマーゼ) 産生菌 (検出検体数) | | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 3 | 0 | 1 | 2 | 6 | 2 | 2 | 27 |
| メタロβ-ラクタマーゼ産生菌 (検出検体数) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| VRE (バンコマイシン耐性腸球菌) (検出検体数) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 菌血症患者数 (人/月) | | 22 | 20 | 18 | 23 | 36 | 32 | 32 | 32 | 26 | 32 | 30 | 24 | 327 |
| 速乾性手指消毒用アルコール消費量 (ml/月) 病院全体 | | 123,310 | 143,390 | 149,470 | 181,140 | 192,800 | 171,450 | 225,140 | 183,400 | 189,730 | 199,480 | 197,190 | 192,900 | 2,149,400 |
| カルバペネム系抗生剤使用量 (g/月) | | 362.5 | 521.05 | 395.25 | 421.20 | 752.00 | 542.00 | 499.00 | 597 | 398.5 | 395.5 | 205.0 | 308.0 | 5397.0 |
| メロペン | | 362.5 | 521.05 | 395.25 | 421.20 | 752.00 | 542.00 | 499.00 | 597 | 398.5 | 395.5 | 205.0 | 308 | 5397.0 |
| チエナム | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| フィニバックス (0.5) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| SSI 発生件数 | | 1 | 2 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 針刺し・切創・体液汚染事故件数 | | 3 | 1 | 1 | 0 | 5 | 7 | 5 | 1 | 3 | 1 | 3 | 2 | 32 |

4) 令和5年度院内感染研修会および勉強会

i) 感染対策研修会・抗菌薬適正使用研修会

| 開催日 | 対象部署 | 対象者 | テーマ | 参加人数 | 講演者 |
|--------|----------------------------|----------|--------------------|--------------------|------------------------|
| 8月30日 | 第1回院内感染対策研修会、第1回抗菌薬適正使用研修会 | 全職員・委託業者 | 带状疱疹アップデート抗菌薬の選ばれ方 | 職員：799人 委託：161人 | 皮膚科：大石医師 感染症内科：兼田医師 |
| 10月24日 | 第2回院内感染対策研修会 | 全職員・委託業者 | 手指衛生について | 職員：799人 委託：160人 | 北沢（テルモ） |
| 12月6日 | 第2回抗菌薬適正使用研修会 | 全職員・委託業者 | 抗菌薬について | 職員：800人 委託：162人 | 高野薬剤師 |

ii) 2023年度院内研修会及び部署別勉強会

| 開催日 | 対象部署 | 対象者 | テーマ | 参加人数 | 講演者 |
|--------|--------------|----------------------|---|------|--------------------|
| 4月3日 | 医療局 | 新任医師 | 感染対策について | 21人 | 渡辺（医師） |
| 4月5日 | 看護部 | 新任看護師 | 標準予防策、経路別予防策、カテーテル関連尿路感染症、尿道留置カテーテル挿入演習 | 23人 | 富田（ICN）、櫻井（メディコン） |
| 4月5日 | 医療局 | 研修医 | 標準予防策、針刺し対策、安全装置の使用 | 10人 | 富田 |
| 4月10日 | 看護部 | 新任看護師 | 針刺しについて | 23人 | 富田 |
| 4月27日 | 医療局 | 研修医 | PPE着脱実習 | 10人 | 富田 |
| 5月9日 | 看護部 | 中途採用看護補助者 | 感染対策・職業感染対策 | 1人 | 富田 |
| 5月17日 | 看護部 | 育休中看護師 | 標準予防策、コロナ対策 | 4人 | 金山 |
| 5月29日 | 看護部 | 事務補助者 | 標準予防策、職業感染 | 4人 | 富田 |
| 5月30日 | 看護部 | 育休明け看護師 | 標準予防策、職業感染 | 3人 | 富田 |
| 7月6日 | 看護部 | 看護補助者 | 標準予防策 | 25人 | 富田 |
| 7月7日 | 看護部 | 高校生 | 手洗い（1日看護体験） | 15人 | 富田 |
| 7月13日 | 看護部 | フィリピン人補助者 | 標準予防策 | 4人 | 富田 |
| 7月14日 | 看護部 | 高校生 | 手洗い（1日看護体験） | 15人 | 富田 |
| 7月25日 | 看護部 | 育休明け・中途採用看護師 | 標準予防策、職業感染 | 2人 | 富田 |
| 7月31日 | 看護部 | 全看護師・全看護補助者 | 新型コロナウイルス研修会 | 50人 | 富田 |
| 8月14日 | 看護部 | フィリピン人補助者 中途採用補助者 | 標準予防策、職業感染 | 5人 | 富田 |
| 9月14日 | 看護部 | 育休明け・中途採用看護師 | 標準予防策、職業感染 | 3人 | 富田 |
| 9月19日 | 医事課 | 医事課職員 | 標準予防策、コロナ対策 | 17人 | 富田 |
| 9月22日 | 看護部 | 看護師・看護補助者 | N95マスクフィットテスト | 28人 | 江頭（モレーン）、 感染対策室 |
| 9月26日 | 看護部 | 中学生 | 感染対策室の業務について | 10人 | 富田 |
| 9月28日 | 看護部 | 中学生 | 感染対策室の業務について | 10人 | 富田 |
| 11月7日 | 看護部 | 看護専門学校学生 | 組織における医療安全対策の理解 | 4人 | 富田 |
| 11月13日 | 地域医療部 | 五葉会会員 | 手洗いについて | 12人 | 富田 |
| 12月8日 | 看護部 | 中途採用看護師育休明け看護師 | 標準予防策、職業感染 | 3人 | 富田 |
| 12月18日 | | 高校生（桜井高校） | 手洗い（1日看護体験） | 3人 | 富田 |
| 1月9日 | 看護部 | 育休明け看護師 | 標準予防策、職業感染 | 1人 | 金山 |
| 2月2日 | 看護部 | 育休明け看護師 | 標準予防策、職業感染 | 3人 | 富田 |
| 2月19日 | 看護部 | 全看護師・全看護補助者 | 新型コロナウイルスの感染対策 | 467人 | 富田 |
| 2月19日 | 看護部 | 全病棟看護師・看護補助者 | N95マスクフィットテスト | 47人 | 江頭（モレーン）、 感染対策室 |
| 2月21日 | 看護部 | 看護補助者 | 標準予防策、職業感染 | 1人 | 富田 |
| 3月6日 | シミュレーション研修部会 | 全職員 | 針さしについて | 30人 | 富田 |
| 3月7日 | 看護部 | 育休明け・中途採用看護師 | 標準予防策、職業感染 | 2人 | 富田 |